

平成19事業年度

決 算 報 告 書

自：平成19年4月 1日

至：平成20年3月31日

国立大学法人大阪大学

平成19年度 決算報告書

国立大学法人 大阪大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	50,886	50,548	△ 337	(注1)
施設整備費補助金	4,289	3,339	△ 949	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	407	3,351	2,944	(注3)
国立大学財務・経営センター 施設費交付金	111	111	—	
自己収入	38,563	41,924	3,361	
授業料、入学料及び検定 料収入	13,154	12,811	△ 342	(注4)
附属病院収入	23,521	26,318	2,797	(注5)
財産処分収入	—	19	19	(注6)
雑収入	1,888	2,775	887	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附 金収入等	13,520	24,417	10,897	(注8)
引当金取崩	—	54	54	(注9)
長期借入金	1,831	1,325	△ 505	(注10)
貸付回収金	—	—	—	
承継剰余金	26	3	△ 22	(注11)
旧法人承継積立金	577	956	379	(注12)
目的積立金取崩	1,533	1,577	44	(注13)
計	111,743	127,609	15,866	
支出				
業務費	74,028	75,487	1,459	
教育研究経費	51,666	46,918	△ 4,747	(注14)
診療経費	22,362	28,569	6,207	(注15)
一般管理費	11,421	11,160	△ 260	(注16)
施設整備費	6,231	4,775	△ 1,455	(注17)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	407	3,312	2,905	(注18)
産学連携等研究経費及び寄附 金事業費等	13,520	19,210	5,690	(注19)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	6,136	6,190	54	(注20)
計	111,743	120,138	8,395	
収入－支出	—	7,471	7,471	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金の予算額については347百万円の、決算額については9百万円の前年度よりの繰越金を含んでおります。なお、予算段階で予定していた繰越金を使用しなかったため、予算額に比して決算額が337百万円少額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、(吹田2) 情報系先端融合科学研究棟及び(歯病) 附属病院本館改修の事業が翌年度へ繰越となったため、予算額に比して決算額が949百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、研究支援を目的とした補助金及び助成金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が2,944百万円多額となっております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、旧大阪外国語大学の年度計画予算作成時に予定していなかった授業料前納収納の廃止並びに入学定員の減少が主たる要因となり、予算額に比して決算額が342百万円少額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、患者数の増及び診療単価の増等の理由で診療収入が増えたため、予算額に比して決算額が2,797百万円多額となっております。
- (注6) 財産処分収入については、古紙・廃材等の廃品の分別収集の推進の結果売却収入が発生し、決算額として19百万円の収入を得ております。
- (注7) 雑収入については、科学研究費補助金等の競争的資金の獲得に努めたことが主たる要因となり、予算額に比して決算額が887百万円多額となっております。
- (注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等の予算額については681百万円の、決算額については3,956百万円の前年度よりの繰越金を含んでおります。また、決算額には旧大阪外国語大学からの承継分85百万円を含んでおります。なお、予算段階では予定していなかった国等からの受託研究等の獲得並びに教育研究に資する寄附金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が10,897百万円多額となっております。
- (注9) 引当金取崩については、前事業年度末の引当金を取崩したことから、決算額として54百万円の収入を得ております。
- (注10) 長期借入金については、(歯病) 附属病院本館改修の事業が翌年度へ繰越となったため、予算額に比して決算額が505百万円少額となっております。
- (注11) 承継剰余金については、予算段階で予定していた支払いが翌期以降となったため、予算額に比して決算額が22百万円少額となっております。
- (注12) 旧法人承継積立金の予算額については使用予定額を、決算額については旧大阪外国語大学から承継した積立金を計上しております。なお、翌年度以降の使用計画があることから、予算額に比して決算額が379百万円多額となっております。
- (注13) 目的積立金取崩については、(吹田) 融合型生命科学総合研究棟の建設経費が増加したため、予算額に比して決算額が44百万円多額となっております。
- (注14) 教育研究経費については、実務指針に従い、医(歯) 学部臨床系講座帰属教員等の人件費に勤務実態を反映させたことにより、人件費支出が予算額に比して少額となったことが主な要因となり、予算額に比して決算額が4,747百万円少額となっております。

- (注15) 診療経費については、収入の増に伴って支出が増加したこと、及び、(注14)に示した理由により人件費支出が予算額に比して多額となったことから、予算額に比して決算額が6,207百万円多額となっております。
- (注16) 一般管理費については、人件費支出が予算額に比して少額であったことが主な要因となり、予算額に比して決算額が260百万円少額となっております。
- (注17) 施設整備費については、(注2)及び(注10)に示した理由により予算額に比して決算額が1,455百万円少額となっております。
- (注18) 補助金等については、(注3)に示した理由により予算額に比して決算額が2,905百万円多額となっております。
- (注19) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注8)に示した理由により予算額に比して決算額が5,690百万円多額となっております。
- (注20) 長期借入金償還金については、予算段階での計画よりも利息の支払時期が前倒しになったことにより当年度の支払利息額が増加し、予算額に比して決算額が54百万円多額となっております。